

令和 3（2021）年度入学者選抜方法等の変更について（予告）【第 2 報】

令和 3 年度入学者選抜方法等の変更については、平成 30 年 11 月 19 日に英語の民間資格・検定試験（以下「英語認定試験」という。）等の活用方法を中心に、第 1 報として予告していたところですが、詳細内容を以下のとおりお知らせします。

なお、内容は現時点での内容であり、今後変更があった場合は改めてお知らせします。

1. 英語認定試験の活用

1-1. 一般選抜

- (1) 英語認定試験は、大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）の枠組みにおける 5 教科 7 科目の位置づけとし、大学入試センターが認定した全ての英語認定試験を対象とします。志願者は、いずれかの英語認定試験を必ず受験する必要があります。
- (2) 英語認定試験の成績は、文部科学省が示す CEFR 対照表の段階に応じ、共通テストの英語の成績に加点して用います。成績が A 1 に満たない場合は、加点は 0 点になります。

CEFR	C 2	C 1	B 2	B 1	A 2	A 1
加点点数	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	10 点

- (3) 共通テストの英語の得点については、リーディング（100 点満点）とリスニング（100 点満点）の合計得点に、英語認定試験の各段階の加点点数を加算した上で、200 点満点に換算して利用します。
- (4) 共通テストの英語でリスニングを免除された場合は、英語認定試験の成績を加算しません。（リーディングの成績を 200 点満点に換算して利用します。）
- (5) 障がい等の理由により英語認定試験の成績を提供できない場合は、個別の対応とします。

1-2. 総合型選抜

- (1) 総合型選抜 I（共通テストを課さない選抜）
合格者は、英語認定試験の受験を必須とします。ただし、合否判定には一切影響しません。
- (2) 総合型選抜 II（共通テストを課す選抜）
一般選抜と同様に全志願者に課し、加算方法についても一般選抜と同様の取扱いとします。

1-3. 英語認定試験成績の登録方法

英語認定試験の成績については、選抜方法にかかわらず、事前に大学入試センターが発行する「共通 ID」を入手し、登録する必要があります。「共通 ID」発行申し込み等の詳細については大学入試センターホームページをご覧ください。

また、本学が利用する成績は、原則として令和 2 年 4 月から 12 月までの成績とします。2 回分の成績を登録した場合は、段階評価の高い方の試験成績を採用します。

2. 大学入学共通テスト

「一般選抜」、「総合型選抜Ⅱ」において、下記の取扱いとします。

2-1. 国語の記述式問題

- (1) 大学入試センターから提供される段階別成績表示に基づき、5段階（最大40点）でマークシート式の得点に加点し、合計点を200点満点に換算して利用します。
- (2) 加点点数は、下記のとおりとします。段階評価の詳細については、大学入試センターのホームページでご確認ください。

段階	A	B	C	D	E
加点点数	40点	30点	20点	10点	0点

2-2. 数学の記述式問題

数学の記述式問題の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

2-3. 外国語の科目

外国語については、全学部で英語のみに変更します。

3. 募集人員

総合型選抜の募集人員を337人から428人に拡充します。これにより、総合型選抜の募集割合は全体の32.4%となります。各学部の内訳については、「令和3（2021）年度 入学者選抜方法及び実施教科・科目等（予告）」の1ページをご覧ください。

入試区分		令和3年度		令和2年度		令和2年度比	
一般選抜	前期日程	716	894	801	985	△85	△91
	後期日程	178		184		△6	
総合型選抜	I	242	428	205	337	+37	+91
	II	186		132		+54	
合計		1,322		1,322			

*募集人員は現時点での予定であり、変更する場合があります。

4. 出願書類の評価

4-1. 調査書の評価

新たに設けられる「備考欄（大学の希望により当該大学の学部等に対する能力・適正等について、特に高等学校長が推薦できる生徒についてはその旨記入することとされている欄）」については、本学では記載を求めないこととします。「備考欄」に記載された内容に関しては評価対象とはしませんので、記載の有無についても問いません。

4-2. 志望理由書等（志願者本人が記載する書類）の評価

AO入試では、これまでも志望理由書等の提出を求め、アドミッション・ポリシーで求める意欲や行動力を評価してきました。令和3年度入試では、一般選抜においても志望理由書の提出を求めるとしてしています（教育学部を除く）。面接を実施しない一般選抜においては、志願者本人が記載した内容に基づき、主として行動力や意欲を評価することになります。

志望理由書等に記載していただく内容については、選抜要項等で公表します。名称については、人文社会科学部の総合型選抜を除き、すべての学部において「志望理由書」に統一します。

4-3. 出願書類の評価方法

出願書類の評価方法については下記のとおりとなります。段階評価の評価点数については、「令和3（2021）年度 入学者選抜方法及び実施教科・科目等（予告）」の5ページ以降をご覧ください。

(1) 一般選抜

- ・人文社会科学部，医学部保健学科，医学部心理支援科学科，理工学部，農学生命科学部：調査書と志望理由書を合わせて4段階評価し，個別学力検査等の合計点に加点する。
- ・教育学部：調査書は面接試験の参考とする。
- ・医学部医学科：調査書及び志望理由書は面接試験の参考とする。

(2) 総合型選抜

- ・人文社会科学部：学習計画書は点数評価する。調査書は4段階評価し，個別学力検査等の合計点に加点する。
- ・教育学部（音楽・美術・保健体育専修）：調査書を4段階評価し，個別学力検査等の合計点に加点する。保健体育専修では，スポーツ競技歴に関する資料を面接試験の参考とする。
- ・教育学部（音楽・美術・保健体育専修除く），医学部保健学科，理工学部，農学生命科学部：調査書と志望理由書を合わせて4段階評価し，個別学力検査等の合計点に加点する。

5. 一般選抜

5-1. 個別学力検査の出題方針

一般選抜で実施する個別学力検査の出題教科・科目の範囲は，高等学校学習指導要領による教育課程に従って学ぶ教科・科目に対応させていますが，令和3年度入試からは，より論理的な思考を問うための記述式の設問を拡充する予定です。

出題方針の具体的な内容については，選抜要項等で公表する予定です。

5-2. 各学部等の個別学力検査等

(1) 教育学部

前期日程において，すべての課程で個別学力検査に加え，個人面接を課します。また，小学校コース，中学校コースの理科専修では理科の選択科目から地学を削除，養護教諭養成課程では物理及び地学を削除します。技術専修では理科から数学へ変更します。

(2) 医学部医学科

前期日程の個別学力検査では数学及び英語を課していましたが，これを廃止し，文章や資料の読解，分析を含め総合的思考力を試す総合問題を課す予定です。

(3) 医学部保健学科

看護学専攻，理学療法学専攻及び作業療法学専攻では，前期日程の個別学力検査に加え小論文を課します。個別学力検査は，数学又は英語から1科目選択となります。

(4) 理工学部

前期日程・後期日程において，理科を課す全ての学科で物理，化学の2科目から1科目選択に統一します。

(5) 農学生命科学部

前期日程において，理科を課す全ての学科で化学，生物の2科目から1科目選択に統一します。後期日程においては，個別学力検査に替えて小論文を課します。

各学部の詳細については、「令和3（2021）年度 入学者選抜方法及び実施教科・科目等（予告）」の5ページ以降をご覧ください。

5-3. 第2志望選抜の廃止

一般入試において、一部の学部で実施してきた第2志望選抜については、令和3年度入試では廃止することとしました。

6. 総合型選抜Ⅰ

6-1. 共通テストの受験について

本学では、これまでAO入試Ⅰの合格者に対して、センター試験の任意受験を推奨してきたところであり、導入以来、センター試験の任意受験者は全ての学部において概ね100%となっています。大学入学までの修学意欲の向上という趣旨に鑑み、令和3年度以降の総合型選抜Ⅰの合格者に対しては、共通テストの受験を必須とします。ただし、これまでどおり、共通テストの成績が合否に影響することはありません。

共通テストの受験科目・科目については、下記を予定しています（全学部共通）。

共通テストの出題教科・科目

国語	国語 を1		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	} 1又は2	} 5又は6
公民	現社, 倫, 政経, 倫政経		
数学①	数学Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A	} 1又は2	
数学②	数学Ⅱ, 数学Ⅱ・B, 簿記・会計, 情報関係基礎		
理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 物理, 化学, 生物, 地学	} 1から3	
外国語	英語（リスニングを含む）を1		

【5教科7科目から6教科8科目】

7. 総合型選抜Ⅱ

7-1. 教育学部

- (1) 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コースのAO入試Ⅱでは、これまで大学入試センター試験の成績について、最終合格者を決定する際の目安として取り扱ってきましたが、令和3年度の総合型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点で合否判定を行います。
- (2) 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 及び 養護教諭養成課程では、これまでAO入試Ⅰを実施していましたが、令和3年度入試からは大学入学共通テストを課す総合型選抜Ⅱへ移行します。

7-2. 医学部医学科

- (1) 医学部医学科AO入試Ⅱでは、これまで2段階選抜を行ってきましたが、これを取りやめすることとしました。令和3年度の総合型選抜Ⅱでは、①個人面接、②ケーススタディの自学自習、③ワークショップにより実施し、2日間の日程で試験を行います。
- (2) 医学部医学科AO入試Ⅱでは、これまで大学入試センター試験については「資格試験」と位置づけしてきましたが、令和3年度の総合型選抜Ⅱでは、大学入学共通テストと個別学力検査等の総合点で合否判定を行います。

7-3. 医学部保健学科

医学部保健学科 AO 入試Ⅱでは、これまで高等学校等の卒業見込者のみを出願要件としてきましたが、令和3年度の総合型選抜Ⅱでは、卒業後5年まで出願できることとします。

7-4. 農学生命科学部

分子生命科学科で課している共通テストの科目について、英語を選択科目から必須科目とし、生物学科と統一します。教科・科目数の変更はありません。

8. 社会人入試

理工学部では、令和3年度入試から学部における社会人入試を実施しないこととしました。社会人教育としては、大学院博士前期課程、大学院博士後期課程において、今後とも、より高度な理工学分野の教育を提供してまいります。

9. 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試では、これまで「日本留学試験」の成績と本学が課す学力検査等により総合判定してきましたが、令和3年度入試から、日本語能力の基準として「日本語能力試験」の成績がN2以上であることを出願要件に加えることとしました。

以 上